

ふるさとへの思い色鮮やかに生き続ける

日本画家・故長井亮之氏の作品を市に寄贈

「父もこの絵を多くの人から見ていただければ、どんなにか嬉しいと思います」。二月十日、日本画家・故長井亮之（りょうし）氏の長女、米山スイさんが千葉市から白根市役所を訪れ、長井氏の作品二十二点の寄贈目録を吉沢市長に手渡しました。明治三十六年、四の町に生まれた長井氏は、二十七歳のころ上京し、本格的に日本画の創作活動を開始。昭和十九年には新潟市に居を構え、絵の道一筋に歩んできました。日本美術院特待であり、数々の展覧会で受賞。日本画界の第一線で活躍し、生涯現役を貫き通しました。



寄贈作品の一つ「残る雪」

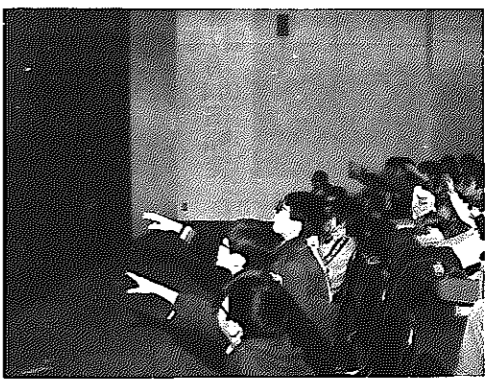


長井氏の長女、米山スイさんから目録が手渡される

また同じく市出身で彫刻界の巨匠、故千野茂氏（平成十四年四月十二日死去・九十歳）と懇意でもありました。わけあってふるさとの地を五十年近く踏んでいなかった千野氏でしたが、次第に長井氏のふるさとに寄せる強い思いに共鳴。平成九年、「長井亮之・千野茂 ふるさと巨匠二人展」が実現しました。長井氏は生前、ふるさと白根に自分の作品を寄贈したいと常々話していたそうですが、かなわないまま昨年十二月二十五日、百一歳の天寿を全うされました。しかし、長井氏のその強い遺志は娘スイさんに引き継がれ、このたびの寄贈となりました。吉沢市長は「あたたかい志をお受けし、大変ありがとうございます」と感謝の言葉を述べ、目録を受け取りました。なお作品の一部は白根学習館に飾られる予定です。

迫力の大風合戦をいつでも観戦

風館3D立体映写室リニューアル



しろね大風と歴史の館は、開館から十年が経過。時の流れとともに、3D立体映像設備の機器が老朽化したため、このほど機器の更新と施設のグレードアップを図りました。まずスクリーンを大きくし、客席全体で映像を見やすくしました。また映写機を新型に替えたことで、以前より映像が明るくなりました。加えてサブウーファー（低音域再生スピーカー）を新設。臨場感が増し、一年中大風合戦を疑似観戦できる空間となりました。思わず手が出る迫力の映像を、ぜひご覧ください。

これからますます、地域ととせむ

白根市消防団解団式

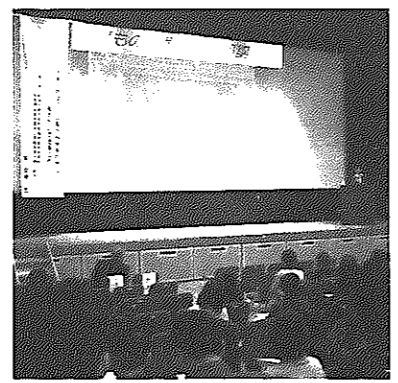


昭和三十年の町村合併で、それまで一町八カ村で活動していた消防団が白根町消防団に、そして昭和三十三年の市制施行で白根市消防団へと変遷。度重なる水害や新潟地震、火災など、その都度不眠不休の活動で住民の生命・財産を守ってきました。合併を前にして二月十一日、白根学習館で解団式が行われ、西村一明消防団長が「新潟市消防団第五方面隊として新たな歴史を刻むこととなるが、これからも地域の皆さんとともに歩んでいくことが最大の使命」と力強くあいさつ。その後、吉沢市長に団旗を返納しました。なお十三日には、新潟テルサで新潟市消防団結団式が行われました。

まちの話題

待ったなし！子どもへの喫煙防止対策

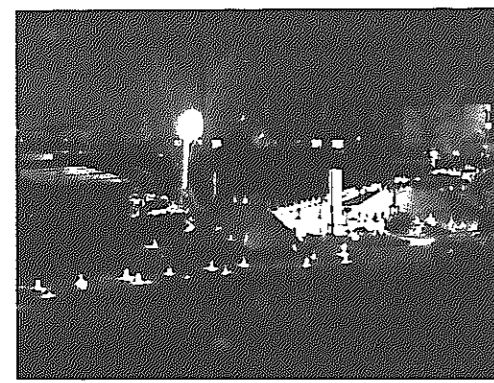
子どもの喫煙防止対策講演会



二月二十五日、白根学習館で「子どもを『たばこ』の害から守るために私たちにできること」と題して、子どもの喫煙対策講演会が開催されました。講師の関奈緒氏（新大大学院歯学総合研究科）は、「若ければ若いほどニコチン依存症に急速に陥る。今や常習喫煙者は、高校生の四人に一人はおり、またどの小学校にも一人はいるというのが実態。もっと小さいところからの喫煙防止対策が急務である」と説明。この問題は学校や家庭だけでなく、地域全体で取り組むべき問題でもあるとし、さまざまな視点からたばこの害について訴えました。

地域の風物詩、キャンピングロード

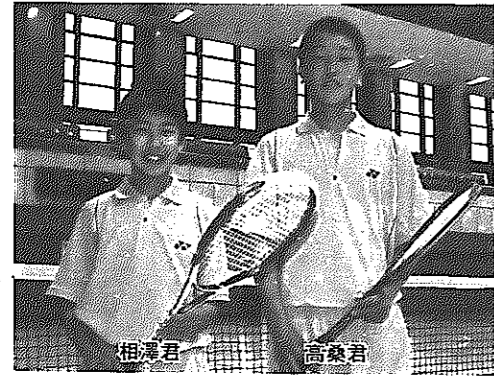
新飯田冬まつり



二月五日、新飯田地区農村公園「ふれあいパーク有願の里」で、今年も新飯田冬まつりが開催されました。今年も開催日直前にまとまった雪が降り、当日には青空がのぞくといった最高のコンディション。子どもたちはクロスカントリースキーなどの雪遊びで楽しく過ごしました。暗くなると、新飯田の風物詩となったキャンピングロードのろうそく約千個に灯がともり、昼間とは一転、幻想的な雰囲気に包まれました。訪れた人は寒さを忘れ、しばらくその美しい景色に目を奪われていました。

がんばれ一中ソフトテニス部

第16回都道府県対抗 全日本中学生ソフトテニス大会



全日本中学生ソフトテニス大会の県予選会が、一月八日、燕市で開催されました。同大会で白根第一中学校ソフトテニス部は男子個人で、三位という輝かしい成績を収め、三月二十六日から三重県で行われる、全国大会への出場切符を手に入れました。メンバーの高桑勇気君（二年）、相澤佑樹君（一年）は、昨秋にペアを組んだばかりのフレッシュコンビ。二人は短期間でチームプレーを磨き上げました。高桑君は相澤君を「すごい勢いで成長している。これからが楽しみな選手」、相澤君は高桑君を「頼りになる先輩」とお互いのことを笑顔で話してくれました。全国大会に向けて高桑君は「去年は三位だった。今年の大大会では、それ以上の成績を目指します」と意欲的です。相澤君は「初出場なので大きな声を出し、元氣よくプレーしたい」とそれぞれ抱負を語ってくれました。二人は、県選抜チームの一員として全国大会に出場します。高桑君は「事前に行われる県外の選抜チームとの練習が楽しみ」と話します。顧問の大村勝紀先生は「高桑君は県選抜のキャプテン。プレッシャーに負けず、伸び伸びとプレーしてほしい」とエールを送ります。毎日、厳しい練習に励む二人。全国大会という夢の舞台に胸を躍らせていました。